

# 2023年 新年のご挨拶



高森町長  
草村 大成

## 新年を迎えて

謹んで新年のご祝辞を申し上げます。

町民の皆さまにおかれましては、新春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃から町政に対する温かいご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

依然続く、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、町では「昨年構築したワクチン集団接種体制により、継続してスムーズなワクチン接種を行い、町民の皆様へ安心感をお届けすることができました。これも一重に、ご協力をいただいた医療関係者の皆様のお力添えと町民の皆様のご理解の賜物と改めて感謝申し上げます。

町では現在、電力・ガス・食料品等の価格高騰に伴う町民の皆様への緊急経済対策として、町独自の『高森町民一律給付金』を年末年始の入用な時期に間に合うよう、スピード感を持ち実施させていただきます。併せて、町内の産業・コミュニティ維持のために農林・商工・福祉を対象とした高森町事業所等支援給付金を実施しているところで

す。今後も、新型コロナウイルス感染症による影響を最小限にとどめるべく、各種事業を実施してまいりますので、引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。

このような不安定な状況下ではありますが、本年は、高森町にとって記念すべき年を迎えます。

4月には、熊本県立高森高等学校に全国初の公立高校マンガ学科が新設されます。マンガ学科

については、本町としても漫画シリコンバレー構想を基に、町営寮の建設や受講機材の購入等、新たな学生受入の為の環境整備を全面的にバックアップしているところで。今後も「マンガを活用した高森高校の魅力向上に関する連携協定」を締結している熊本県教育委員会、高森高校、漫画出版社の株式会社コアミックスと連携し、多くの若者が集う町となるべく、各種施策を実施してまいります。

また、夏には、熊本地震からの復興のシンボルとして町民の皆さんの悲願でもありました南阿蘇鉄道の全線開通が予定されております。町でも、一昨年より進めてきている高森駅前再開発及び新南阿蘇鉄道の建設や、地震以降継続して実施している町内の賑わい創出を今後も強力に推進してまいります。南阿蘇鉄道と有名漫画『ONE PIECE』とのコラボによる列車の運行も計画されており、是非町民の皆様も南阿蘇鉄道にご乗車いただけますと幸いです。

更に、日本全体での喫緊の課題でもあるDX化（デジタル技術による変革）を町内で強力に推進するため、町内全域で「光ファイバー10G（ギガ）サービス」の提供が4月から開始されます。本サービスの開始により、漫画シリコンバレー構想の更なる推進や交流人口の増加、新規産業の創出を推進してまいりますので、町民の皆さまの積極的な活用・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

これらの事業は基より、日本全体の今後の課題である本格的な高齢化・人口減少社会の到来に備え、人口減少の下支え・新たな産業の創出・DXの推進による行政サービスレベルの維持等、後世にわたり恩恵を享受できるための準備を今後もしっかりと整えてまいります。

町民の皆様におかれましては、引き続き感染症対策を心がけていただき、令和5年が良い年となりますことをご祈念申し上げます。新年の挨拶いたします。



高森町議会議長  
佐伯 金也

## 新年を迎えて

高森町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

まずは昨年12月9日に発生しました、議会全員協議会での不祥事の件につきまして、町民の皆様にご迷惑を代表して深くお詫び申し上げます。

令和5年におきましては昨年の負の出来事を教訓に議会、議員、全員で一致団結し、議会制民主主義を尊重し、町民の皆様のご生活の不安払拭、安定、福祉向上に努めてまいりますので、どうかよろしくお願いたします。

さて、昨年のコロナウイルス感染症が波を打つように本町に打ち寄せ、町民の皆様のご生活も混乱されたことと存じます。その様な状況を考察し、12月の議会で経済対策給付金の施行や物価高騰対策の給付金の施行が可決され、他市町村の方たちから羨ましがられる事業が実行されました。これも本町、草村町長のすばらしい財政運営手腕の証明であると感謝いたします。

本年は統一地方選挙の年でもあります。現議会議員もしっかりと勉強、研鑽し現代社会に乗り遅れることなくレベルアップした陣容で、町政としつかり向かいあえることを期待しております。

高森町は何といつても農林畜産業の町。

大先輩が私に言われた言葉、「農業えずして商栄えず」

「実るほどこっぺを垂れる稲穂かな」

この言葉を肝に命じ、議員一同頑張つてまいりますので、よろしくお願いたします。

### 高森町議会

副議長 牛嶋 津世志

田上 更生

本田 生一

立山 広滋

芹口 誓彰

後藤 三治

後藤 清治

津留 智幸

後藤 巖

